

カタログコード: 711689-5

カンピロバクター選択寒天培地(プレ斯顿処方)

CAMPYLOBACTER SELECTIVE AGAR (PRESTON)

OXOID コード: CM0689

□ 組成 (培地1Lあたり)

ペプトン	10.0	g
ラブ-レムコ末	10.0	g
塩化ナトリウム	5.0	g
寒天	12.0	g
pH7.5±0.2		

プレ斯顿カンピロバクター選択サプリメント (SR117)

1バイアルあたり : 500mL用

ポリミキシン B	2,5000	IU
リファンピシン	5.0	mg
トリメトブリム	5.0	mg
シクロヘキシミド	50.0	mg

□ 調製方法

本品18.5gを475mLの精製水に懸濁し、沸騰するまで加熱して溶解する。121℃で15分間、高圧蒸気滅菌し約50℃に冷却する。25mLのウマ溶血液と2mLのアセトン/滅菌精製水(1:1)で溶解したプレ斯顿カンピロバクター選択サプリメント(SR117)1バイアルを無菌的に添加する。十分に攪拌した後シャーレに分注する。

□ 用途・特徴

本培地はBoltonとRobertson¹⁾の処方に基づくもので、全ての種類の検体(ヒト、動物、鳥類、環境材料)からの*Campylobacter*属の分離に適するよう特別に調製されている。

Skirrow、Butzler、Blaser、Campy-BAPおよびPrestonという5種類の選択培地の比較研究において²⁾、Preston培地では試験した全ての種類の検体から*Campylobacter*属が分離され、また選択性も最も優れていることが見出された。

Oxoid社のカンピロバクター寒天基礎培地(CM689)はBoltonとRobertsonの処方を基礎として調製されており¹⁾、Blaser-Wang、SkirrowやButzlerの各選択サプリメント添加用の基礎培地としても使用できる。

またプレ斯顿カンピロバクター選択サプリメント(SR117)

は、プレ斯顿カンピロバクター選択増菌ブイヨンの調製にも使用できる²⁾。

□ 方法

1. 本培地を指示通り調製する。
2. 0.1%ペプトン水2mLと検査材料を混和する。
3. 単独したコロニーができるよう綿棒などで培地上に塗沫する。
4. 酸素濃度5~6%、二酸化炭素濃度10%、窒素84~85%の微好気条件下で42℃、24~48*時間培養する。この大気条件は、Oxoid社のカンピロバクター用ガス発生キット、嫌気ジャー、低温触媒を用いることで作り出すことが可能である。
5. 培地を観察し疑われるコロニーが*C. jejuni*や*C. coli*であるか確認試験を行う。

**Campylobacter*属のコロニー数が少ないようであれば48時間まで培養を行う。

カンピロバクター輸送培地

高温性の*Campylobacter*属の保存及び輸送用には選択サプリメントを添加していない培地を用いる。

□ 参考文献

1. Bolton F.J. and Robertson L. (1982) J. Clin. Pathol. 35. 462-467.
2. Bolton F.J., Coates D., Hinchliffe P.M. and Robertson L. (1983) J. Clin. Pathol. 36. 78-83.
3. George H.A., Hoffman P.S., Kreig N.R. and Smibert R.M. (1979) Can. J. Microbiol. 25. 8-16.
4. Bolton F.J., Coates D. and Hutchinson D.N. (1984) J. Appl. Bact. 56. 151-157.
5. Rogol M., Schnaidman B., Katzenelson E. and Sechter I. (1990) Eur. J. Clin. Microbiol. Inf. Dis. 9. 760-762.

